



## 彫刻入門

彫刻表現の事柄を実践的に学習び、多様な彫刻・立体の事例を鑑賞することにより、彫刻の魅力について学ぶ。また、彫刻・立体造形が地域文化に果たす役割や環境との共生のあり方を実例をもとに学ぶ。

- 1 オリエンテーション
- 2 スケッチ・荒付け
- 3 塑造・マッスの把握
- 4 塑造・ムーブマンの把握
- 5 塑造の展開
- 6 塑造の充実
- 7 仕上げ、鑑賞、評価
- 8 イメージスケッチ
- 9 荒付け
- 10 塑造構造の抽出と表現
- 11 塑造の展開
- 12 塑造の充実
- 13 仕上げ、鑑賞・評価
- 14 鳥取県立博物館等美術作品の鑑賞
- 15 彫刻作品鑑賞とディスカッション

## ミュージカル

ミュージカルの制作と上演を通して、音楽や演技によって自己表現を行い、他者とコミュニケーションする力を養う。ミュージカルの分析と理解をもとに、簡単なミュージカルを制作し上演する。上演は地域の養護学校児童・生徒、幼稚園児及び一般に公開する予定。

- 1 ガイダンス
- 2 ミュージカルを構成する要素
- 3 題材の決定と台本の作成(1)
- 4 題材の決定と台本の作成(2)
- 5 キャスト、スタッフ等のチーム編成、練習計画の作成
- 6 ミュージカルの作成(練習1)
- 7 ミュージカルの作成(練習2)
- 8 ミュージカルの作成(練習3)
- 9 ミュージカルの作成(練習4)
- 10 ミュージカルの作成(練習5)
- 11 ミュージカルの作成(練習6)
- 12 ミュージカルの作成(練習7)
- 13 ミュージカルの作成(練習8)
- 14 ミュージカルの上演
- 15 総括

## 芸術文化形成論

西洋を中心とした美術の歴史を学び、考察することをおして、人類の芸術文化遺産への理解を深めること、そればかりでなく、現在の芸術文化についても見る眼と考える力を養います。芸術文化の歴史とその意味を、主に美術の流れをとおして考えます。

- 1 はじめに。用語説明等。明治期の芸術文化状況。
- 2 西洋美術の流れ(1)
- 3 西洋美術の流れ(2)
- 4 西洋美術の流れ(3)
- 5 イコノグラフィーとイコノロジー
- 6 近代美術(1)
- 7 近代美術(2)
- 8 他のジャンルへの考察
- 9 芸術文化とパトロン
- 10 今日の日本における芸術文化振興
- 11 博物館・美術館・図書館
- 12 芸術文化をめぐる諸制度
- 13 地域生活・地域住民と芸術文化
- 14 スポーツ文化振興と芸術文化振興
- 15 まとめ

## 舞踊芸術創造

舞踊文化を体験的に理解する。ノンバーバルコミュニケーションとしての舞踊の様々な様相をビデオを概観し、舞踊の美学的な特性を実技を通して知る。いくつかの小さな、からだだからの動きによる表現を体験し、最後にはまとめとしての小作品を創る。

- 1 様々な舞踊について1 時代の中で
- 2 様々な舞踊について2 社会の中で
- 3 舞踊表現の材料 からだ・うごき・衣装・道具・音楽・照明
- 4 舞踊運動の構成要因1 からだの部位に着目
- 5 舞踊運動の構成要因2 いろいろな動作に着目
- 6 舞踊運動の構成要因3 空間づくりに着目
- 7 舞踊運動の構成要因4 動きの質に着目
- 8 舞踊運動の構成要因5 コミュニケーションに着目
- 9 舞踊表現1 動きを捉える「新聞君」
- 10 舞踊表現2 いろいろ捉えて続けられる「ゴム紐」「スポーツ」
- 11 舞踊表現3 主題を中心にまとめる「自然の驚異」「人間社会」
- 12 作品づくり1 主題を見つける
- 13 作品づくり2 主題の動きを強調、動き、作品構成
- 14 作品づくり3 作品を踊り込む
- 15 作品発表と鑑賞

## デザイン創造

デザインのみならず、視覚造形の3要素である、色彩・形・テクスチャーについて、基礎的な知識を深めると共に、デザインの小作品を制作することで実用的な応用力をつける。

- 1 オリエンテーション
- 2 イメージスケッチ
- 3 デザイン・形について
- 4 デザイン・色について
- 5 デザイン・テクスチャーについて
- 6 デザインの展開
- 7 デザインの充実
- 8 完成、鑑賞、評価
- 9 イメージスケッチ II
- 10 技法について
- 11 デザイン要素の抽出と表現
- 12 デザインの展開 I
- 13 デザインの展開 II
- 14 完成、鑑賞・評価
- 15 世界のデザイン鑑賞

## 作曲入門

和声・楽式・作曲の理論と実践の両面を学ぶことにより、西洋音楽の基礎形式における構成原理を理解する。基礎形式および和声に関する講義と楽曲分析と作曲・演奏の実践。

- 1 ガイダンス
- 2 二部形式(1) 構造原理に関する概論
- 3 二部形式(2) 分析研究
- 4 二部形式(3) 構想と作曲
- 5 二部形式(4) 問題点の検討、演奏法の研究
- 6 三部形式(1) 構造原理に関する概論
- 7 三部形式(2) 分析研究
- 8 三部形式(3) 構想と作曲
- 9 三部形式(4) 問題点の検討と演奏法の研究
- 10 複合三部形式(1) 構造原理に関する概論
- 11 複合三部形式(2) 分析研究
- 12 複合三部形式(3) 構想と作曲
- 13 複合三部形式(4) 構想と作曲
- 14 複合三部形式(5) 問題点の検討、演奏法の研究
- 15 まとめと作品発表

## アートマネジメント論

芸術と社会を結ぶアートマネジメントが、今何故必要とされるようになってきているのか。地域社会におけるアートマネジメントの意義と役割を学ぶ。また具体例の検討を通じてアートマネジメントに関する一般的な知識を獲得し、文化政策やまちづくりとの関わりについて理解する。

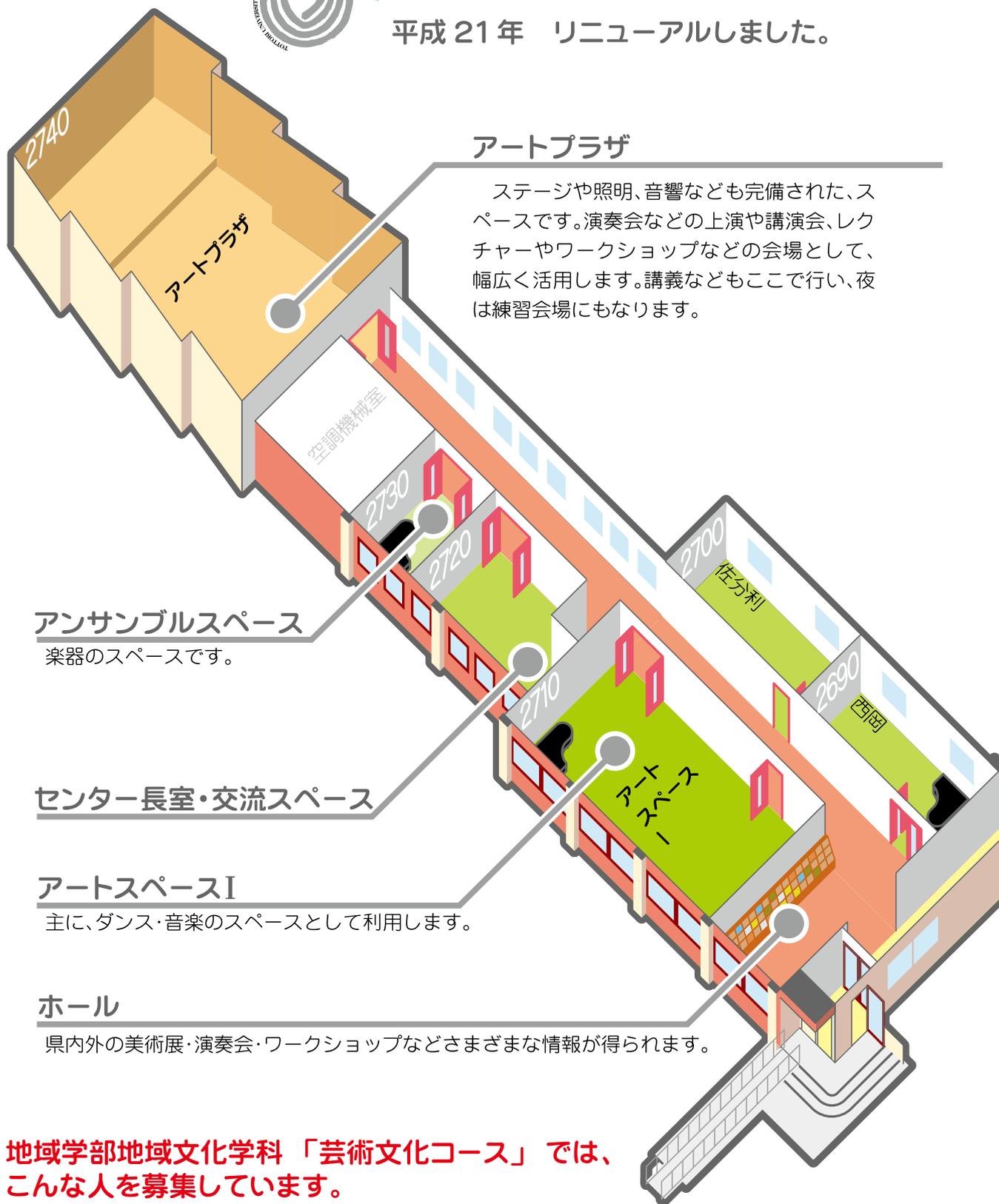
- 1 オリエンテーション
- 2 アートマネジメント事始め①
- 3 アートマネジメント事始め②
- 4 文化施設のマネジメント①国内美術館編
- 5 文化施設のマネジメント②海外美術館
- 6 文化施設のマネジメント③国内劇場・ホール編
- 7 芸術フェスティバルのマネジメント①舞台芸術の場合
- 8 芸術フェスティバルのマネジメント②現代美術の場合
- 9 芸術を支えるのは誰か～「公的支援」と「企業メセナ」
- 10 アートマネジメントの主体を考える～アートNPOの可能性
- 11 山陰ならではのアートマネジメントを考えよう
- 12 アーツマーケティングという考え方
- 13 芸術文化活動の企画実践①
- 14 芸術文化活動の企画実践②
- 15 まとめ

主な講義一覧  
五十音順)

- アートマネジメント I
- アートマネジメント II
- アートマネジメント論
- 演劇創造
- 歌唱芸術表現 I
- 歌唱芸術表現 II
- 芸術と地域ゼミ I
- 芸術と地域ゼミ II
- 芸術表現研究 I
- 芸術表現研究 II
- 芸術文化形成論
- 芸術文化ゼミ
- 作曲入門
- 指揮法入門
- 造形芸術創造 I
- 造形芸術創造 II
- 造形芸術入門
- 地域芸術実践ゼミ I
- 地域芸術実践ゼミ II
- 地域調査実習
- 地域フィールドワーク
- 地域文化専門ゼミ I
- 地域文化専門ゼミ II
- デザイン表現 I
- デザイン表現 II
- 特別研究 I
- 特別研究 II
- ピアノ演奏表現
- 美学美術史特論
- 舞台芸術入門
- 舞踊芸術創造 I
- 舞踊芸術創造 II
- 文献講読 I
- 文献講読 II
- ミュージカル I
- ミュージカル II



平成 21 年 リニューアルしました。



### アートプラザ

ステージや照明、音響なども完備された、スペースです。演奏会などの上演や講演会、レクチャーやワークショップなどの会場として、幅広く活用します。講義などもここで、夜は練習会場にもなります。

### アンサンブルスペース

楽器のスペースです。

### センター長室・交流スペース

### アートスペースI

主に、ダンス・音楽のスペースとして利用します。

### ホール

県内外の美術展・演奏会・ワークショップなどさまざまな情報が得られます。

**地域学部地域文化学科「芸術文化コース」では、こんな人を募集しています。**

音楽・美術・舞踊・アートマネジメント等の理論や実践について学びたい人  
芸術文化の創造と発信を通じて、地域の芸術文化の発展を担おうとする人  
地域の芸術文化資源の調査・分析と、その活用について興味のある人  
芸術文化を通じた、ひとづくり、まちづくりに興味がある人

募集人員 推薦入学Ⅱ 4名

詳しくは、鳥取大学入試課ホームページをご覧ください。 <http://www.adm.zim.tottori-u.ac.jp/>



**芸術文化センター**  
 芝生の丘を上ったところに入りが  
 あります。

**航空機**

◦東京（羽田）鳥取 約70分 [鳥取空港から車で約5分]

**JR**

◦大阪―鳥取 特急で約2時間30分 [鳥取駅―鳥取大学前駅まで約10分]

**バス**

◦東京―鳥取 約10時間30分（夜行）

◦京都―鳥取 約4時間

◦大阪―鳥取 約3時間30分

◦広島―鳥取 約4時間50分

◦福岡―鳥取 約11時間（夜行）

[鳥取駅―鳥取キャンパスまで約30分]

**アクセス**

**アートスペースⅡ**

主に、彫刻・工芸などのスペースとして利用します。

**学生演習室**

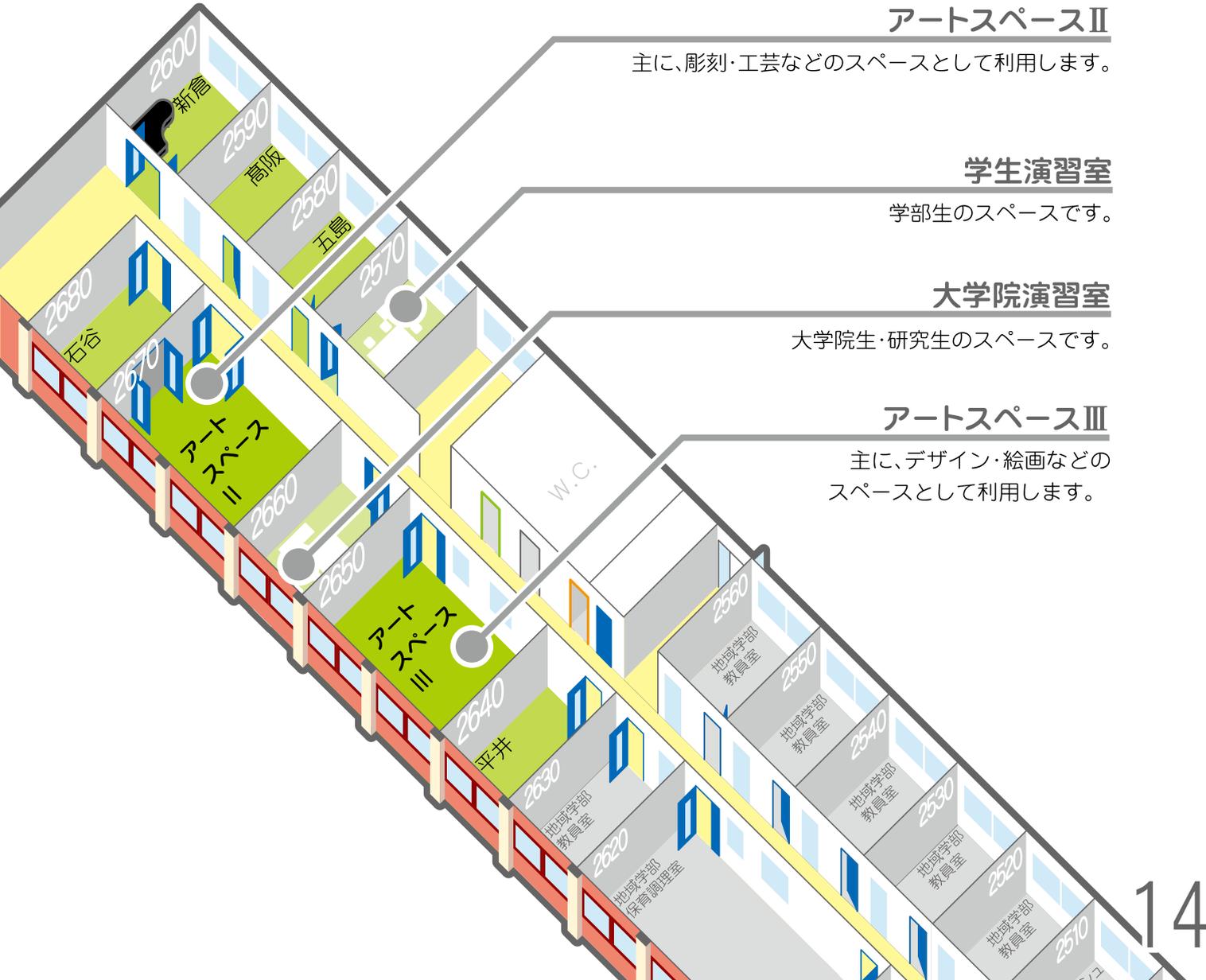
学部生のスペースです。

**大学院演習室**

大学院生・研究生のスペースです。

**アートスペースⅢ**

主に、デザイン・絵画などのスペースとして利用します。





鳥取大学地域学部附属  
芸術文化センター事業報告  
平成 19 年度—平成 22 年度

平成 23 年 4 月発行

全体編集 小松亜希恵

表紙デザイン 平井寛・小松亜希恵

発行／鳥取大学地域学部附属芸術文化センター

〒680-8551 鳥取市湖山町南 4-101

<http://www.tottori-artcenter.com/>

印刷／旬光社



地域フィールドワーク H22 近江八幡にて





